※令和４年度以降入学生用

学校番号	C2101

令和５年度　数学科

科目	数学Ⅰ	単位数	３	必要Ｓ出席数	３
使用教科書	「新　高校の数学Ⅰ」　（数研出版）				
副教材等					

	年間総数	１範囲	２範囲	３範囲
レポート	９通	３枚	３枚	３枚
スクーリング	１２回	４回	４回	４回
テスト	２回	あり	あり	なし
課題・実習等				

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- レポート（３通×３範囲＝９通）…学習書・副読本精読で作成可能
- スクーリング（最低３回）…学習情報を得るため、各範囲ともに出席
- テスト（1，２範囲のみ実施）…レポート復習で対応可能

２　学習の到達目標

①各単元の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。
②各単元について，論理的に考察し適切な手段を用いて表現・考察することができる。
③数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式，図形と計量，２ 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

- 学習指導要領（第１章第７款の４）に則り，ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除（面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除）の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	数と式	基本の計算 単項式と多項式 多項式の加法減法乗法 展開と因数分解 実数 1 次方程式 1 次不等式	a: 数と式の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 b: 数と式を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。 c: 数と式に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	レポート 定期考査	レポート 定期考査	課題
2	2次関数	関数 1 次関数グラフ 2 次関数のグラフ 2 次関数の最大値・最小値 グラフと 2 次方程式	a: 2 次関数の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 b: 2 次関数を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。 c: 2 次関数に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	レポート 定期考査	レポート 定期考査	課題
3	図形と計量 / 集合と命題 / データ分析	直角三角形 三角比 三角比の利用 三角比の相互関係 集合 命題と集合 データの整理 データの代表値 データの散らばり	a: 図形と計量，集合と命題，データ分析の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 b: 図形と計量，集合と命題，データ分析を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身に付けている。 c: 図形と計量，集合と命題，データ分析に関心をもつとともに，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	レポート	レポート	課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度